



豊岡市

豊岡市は兵庫県の北東部に位置し、豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町の1市5町が平成17年4月1日に合併し発足しました。

北は日本海、東は京都府京丹後市に接し、東西38.8km、南北32.2km、面積697.66km²で、兵庫県内最大、県全体の8.3%を占めています。

市の中央には悠久な流れを有する円山川が緩やかに日本海へ注ぎ、円山川とその支流に沿って盆地が形成されています。

また、海岸部は山陰海岸国立公園、山岳部は氷ノ山後山那岐山国定公園に指定され、市全域が山陰海岸ジオパークに含まれる自然環境に恵まれたまちです。

平成17年9月には、国の特別天然記念物コウノトリが自然放鳥され、平成19年7月には、国内の自然界では46年ぶりにヒナが巣立つなど、人里で野生復帰をめざす世界的にも例がない壮大な取組みが着実に進んでいます。

産業は、製造業・農林水産業・観光業などが盛んで、豊岡かばんをはじめ、出石焼、但馬ちりめんなどの地場産業が営まれています。

農業では、稲作・畑作物のほか「但馬牛」として名高い和牛の肥育、漁業では、冬の味覚「松葉がに」をはじめ、四季折々に豊富な魚貝類が水揚げされ、観光面では全国的に有名な城崎温泉、西日本屈指の神鍋高原スキー場、但馬の小京都・城下町出石などを有し、年間の観光入込客数は470万人以上にのぼっています。



観光スポット

城崎温泉

約1,300年前からこんこんと湯が湧き続け、日本で屈指の名湯として、古くから志賀直哉をはじめ多くの著名人にも愛されています。



城下町出石

歴史と皿そばの町「出石」は「古事記」「日本書記」にも登場する古い町。歴史情緒漂う城下町を散策すれば、往時にタイムスリップしたようです。



■年間行事スケジュール

- 10月14、15日……城崎だんじり祭
- 11月 3日………出石お城まつり
- 11月 6日………「津居山かに」解禁
- 11月上旬………阿瀬渓谷紅葉まつり
- 11月23日………城崎温泉かに王国開国式・絶叫大会
- 2月下旬(予定)…とよおか津居山港かにまつり



豊岡市データ

(平成23年7月1日現在)

面 積 697.66 km²

人 口 88,435 人

ホームページアドレス
<http://www.city.toyooka.lg.jp>

PRESENT プレゼント 豊岡市の物産

豊岡市の物産をご提供いただきましたので
プレゼントいたします。

- ⑤名様 コウノトリ育むお米(3合・1袋)、
誕生の塩(70g・1袋)セット



野生復帰するコウノトリが住みやすい環境作りの一環として作られた無農薬のお米と、室町時代から製塩事業をおこなっていたといわれる竹野の浜で海水を煮詰めて作った自然塩です。

商品提供:但馬豊岡観光協議会

- ⑤名様 本格米焼酎

豊岡「コウノトリとの約束」(720ml 1本)

コウノトリ育むお米と、標高567メートルの来日岳(くるひだけ)のふもとから湧き出る「二見の水」を使用し、安全・安心で、飲みやすく、やわらかな口当たりに仕上がっています。



商品提供:合同酒精株

- ⑤名様 出石皿そば(半生麺・6人前)



2009・2010年モンドセレクション銀賞受賞商品で、麺コシの強さに拘った自慢の一品です。

かつお風味の効いた専用のつゆ(ストレート)付きです。

商品提供:株田中屋食品 (0796-52-2128)

応募方法

郵便はがきに、ご希望の物産名・住所・氏名・TEL・勤務先・組合員証番号(組合員証に記載された記号と番号)・共済組合へのご要望やご意見を記入のうえ、下記へお送りください。

締め切り

平成23年11月15日(火) 消印有効

■プレゼントの応募のあて先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3兵庫県民会館

*当選は賞品の発送をもって発表いたします。また、当選されなかった方も、「豊岡市観光パンフレット」を送付させていただきます。

*応募は、組合員お1人につき1通とさせていただきます。

■応募される方へお願い

《物産プレゼント》の応募葉書の中に、組合員証記号番号の記載をお願いしておりますのは、商品等の発送に必要な事項の記入漏れ等のときに、ご本人の確認に使用させていただくためです。提供いただいた情報につきましては、本組合個人情報の保護に関する規程等に基づき、適切に管理していますので、ご了承ください。これからもよりよい広報誌を作成していくため、ご意見・ご感想をお待ちしております。

■前回の応募数 104通

たくさんのご応募ありがとうございました。今回もたくさんのご応募をお待ちしております。

表紙の写真の説明



玄武洞公園。国指定の天然記念物。玄武岩は160万年前の火山活動の際に流れ出た溶岩が冷えて固まったものです。その前にいるのが、豊岡市の観光PRと、山陰海岸ジオパークの普及啓発に活躍中の豊岡市マスコット「玄武岩の玄さん」。六角形の顔に太い眉がトレードマークで怒りマークがついていますが、心根は優しく、義理と人情に厚い「岩」です。